



未来のために、いま選ぼう。

～環境経営を通じて《地域社会に活かされ生きる企業》を目指します～



環境経営レポート

活動期間:2019.04～2020.03



あなぶきエンタープライズ

anabuki

目次

1. 代表者による全体評価と見直し	1
2. 環境経営方針	2
3. 事業内容	3
4. 環境経営活動 推進体制組織図	4
5. 全社中長期目標及び環境経営活動計画	5・6
6. 今年度の環境経営目標と活動計画・実績	
■ 全社実績集計	7・8
■ SA&リゾート事業部 / ■ ホテル事業部	9
■ 倉敷事業部 / ■ 関連事業部・管理本部	10
7. 環境関連法規への違反・訴訟等の有無	11
8. 各施設環境活動報告《 目次 》	12
■ 施設別環境経営レポート	①～⑪

1. 代表者による全体評価と見直し

穴吹エンタープライズ株式会社
代表取締役社長 富岡 徹也



私たち、あなぶきエンタープライズは、「サービス事業を通じて地域社会の発展とその文化の創造に貢献します」を経営理念に、香川県を中心に近県も含めてホテル・旅館、サービスエリア、公共施設、スポーツ施設などの運営を主体に多彩な事業を展開しています。

今年度は、国内で広がりを見せている『エコホテル』への認定取得に主に取り組み、現在3ホテルで認定を受けております。

初めての取組として、『スマートセレクト』を導入したことで、使い捨てアメニティの廃棄削減につながり、分別・リサイクル推進による廃棄物排出量削減の数値も目標値をクリアすることが出来ました。

また、その他の取組でも、石鹸・シャンプーなどを個包装ではなく、ディスペンサーを使用したり、連泊時のシーツ・タオル類の交換選択もしております。

宴会等におきましても、引き続き活動を続けている『3010 運動※』の活動にもお客様のご理解・ご協力を賜りその他の項目についても目標値をクリアすることが出来ました。

10年間継続してきたエコアクション21の活動を通じ、他社様のエコ活動に関する様々な取り組み内容等を知る機会も増え、エコ活動の重要性と必要性を改めて感じました。この節目をもってエコアクション21としての活動からは離れることとなりますが、今後も引き続き環境への配慮・エコ活動を継続し、お客様にも環境にも優しい施設運営を継続していく所存です。



2020年に入ってから、予想をはるかに上回るコロナウイルス感染症の広がりで弊社としても大きな影響を受けておりますが、この非常時こそ、『持続可能な社会の実現』に向けての取り組みを考えるべきだと思っております。今までの活動の中で弊社に根付いた活動だけでなく、変化する時代に対応しながら、新しい取り組みや我々にできる最善の策は何かを常に検討していくことが重要と感じております。

私たちは今後も環境経営を通じて『地域社会に生かされ生きる企業』を目指します。

※)3010運動は、宴会時の食べ残しを減らす為のキャンペーンで、宴会の開始から30分と、閉宴10分前には席に座って食事を楽しみましょうと呼びかけて、食品ロスを削減するものです。

2. 環境経営方針

【 環 境 経 営 方 針 】

基本方針

穴吹エンタープライズ株式会社は、地域社会に生かされ生きる企業を目指し、全ての事業活動において環境負荷の削減に努め、持続可能な低炭素社会及び循環型社会の実現に向けて、社会的責任を果たします。

行動指針

1. お客様に満足していただける、安全で快適な環境を提供します。
お客様にご利用いただく施設環境の向上に努め、環境負荷に配慮した商品とサービスの提供を推進します。
2. 廃棄物の適正処理と削減に取り組めます。
(1) 3Rを推進し、廃棄物の削減をします。
※3R (Reduce: 発生抑制・Reuse: 再使用・Recycle: 再資源化)
(2) 食品リサイクル率の向上・生ごみ廃棄物の発生抑制を推進します。
3. SDGsの理念を尊重し、事業活動と社会貢献活動を通じて、その目標達成に貢献します。
4. 法令を遵守します。
環境に関する法規制等を遵守し、環境保全に努めます。
5. 啓発活動の推進
全スタッフへ環境に関する教育を行い、社員の環境意識の向上を図ります。

制定日 2011年3月1日

改定日 2020年5月1日

穴吹エンタープライズ株式会社
代表取締役社長



3. 事業内容

□ 事業所名及び代表者名

穴吹エンタープライズ株式会社

代表取締役 社長 富岡 徹也

□ 所在地

本社：香川県高松市鷹屋町 2-8 あなぶきセントラルビル 4 階

□ 環境管理責任者及び環境管理事務局連絡先

・環境管理責任者：須崎 隆二（執行役員 管理本部長）

電話：087-825-0556

・事務局連絡先：稲谷 敏（施設・購買部 部長）

電話：087-831-1529

□ 事業の規模（全社）

総従業員数 551 人（2020 年 3 月末現在）

全社売上高 6,022 百万円（2018 年 7 月～2019 年 6 月）

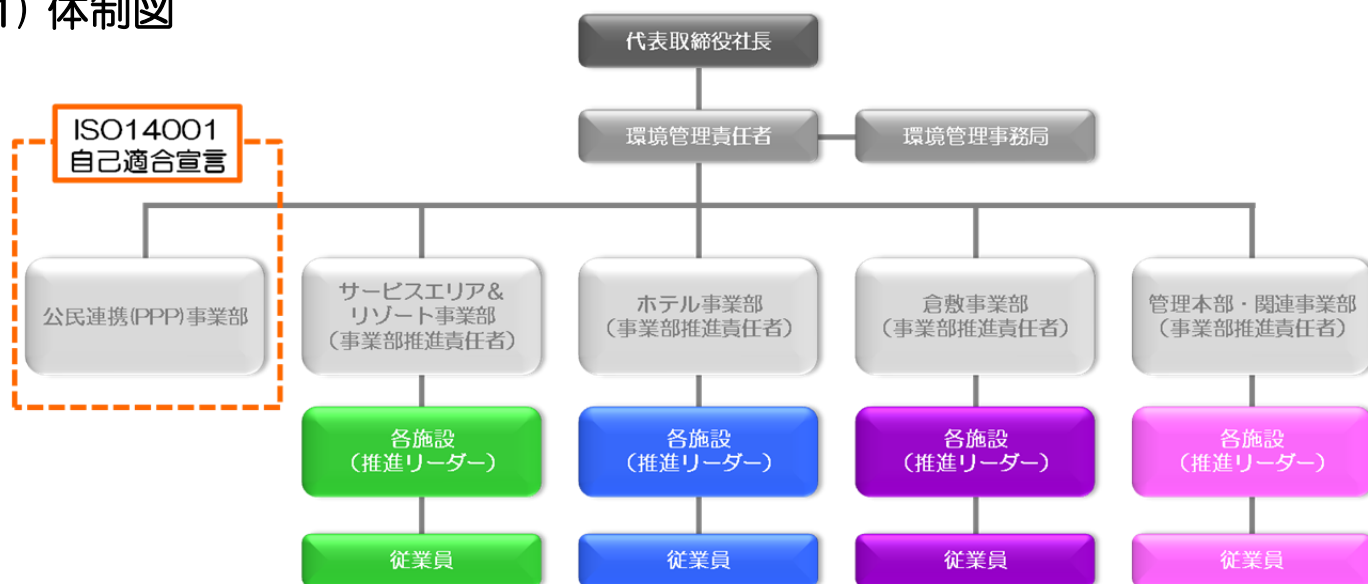
□ 環境経営レポートの対象範囲について

当社、穴吹エンタープライズ株式会社は、以下の 5 つの部門で構成されており、公民連携(PPP)事業部を除く全施設を対象範囲としています。

No.	事業部名	施設名	業務内容
1	サービスエリア&リゾート事業部	<ul style="list-style-type: none"> ・アルファ津田カントリークラブ ・クアパーク津田 ・クアタラソさぬき津田 ・津田の松原サービスエリア ・上板サービスエリア 	スポーツ健康増進施設、サービスエリア、ゴルフ場を運営する。
2	ホテル事業部	<ul style="list-style-type: none"> ・チサンランド高松 ・高松国際ホテル ・ロイヤルパークホテル高松 ・リーガホテルゼスト高松 ・琴平パークホテル 	ホテル、料飲施設を運営する。
3	倉敷事業部	<ul style="list-style-type: none"> ・旅館くらしき ・倉敷珈琲館 	宿泊施設、料飲施設を運営する。
4	管理本部 (関連事業部)	<ul style="list-style-type: none"> ・管理部 (フーズケア課/ストアマネジメント課) ・施設購買部 	人事や会社の資産等を管理し、各課の運営をサポートする。 物販店舗運営及び通販展開、高齢者向け施設への給食提供を行う。
5	公民連携(PPP)事業部	<ul style="list-style-type: none"> ・サンメッセ香川・香川県県民ホール ・美馬市地域交流センター ミライズ ・三豊市文化会館(マリンウェーブ) ・香川県総合運動公園・観音寺市民会館 	※ISO14001 自己適合宣言※ 指定管理者制度に基づき、地方自治体等より委託された公共施設の管理・運営を行う。

4. 環境経営活動推進 体制組織図

1) 体制図



2) 役割責任及び権限

役職名	役割・責任・権限
代表取締役社長	① 環境経営方針の制定、誓約及び全従業員への周知 ② 環境管理責任者の任命 ③ 環境経営システム全体の評価と見直しの実施 ④ 環境経営資源の確保
環境管理責任者	① 各種環境関連文書の記録及び管理 ② 事業部推進責任者の任命 ③ 全社の環境目標及び、環境活動実施計画の実施状況の評価 ④ 代表者による全体の評価と見直しに必要な資料をまとめ社長へ報告 ⑤ 全社共通の環境関連の教育・訓練の実施 ⑥ 環境活動レポートの作成、公表 環境管理事務局 環境管理責任者の補助業務
各事業部 推進責任者	① 各施設の推進リーダーの任命 ② 各施設の環境目標及び、環境活動実施計画の実施状況・達成状況の確認及び評価 ③ 各施設の環境に関する是正・予防処置の実施状況の確認と評価 ④ 上記の各項目について環境管理責任者へ報告 ⑤ 事業部共通の環境関連の教育・訓練の実施
各施設 推進リーダー	① 自施設の活動に応じた環境目標及び環境活動実施計画の策定・運用 ② 自施設の環境目標及び、環境活動実施計画の実施状況・達成状況の把握及び確認・評価 ③ 自施設の環境に関する是正・予防処置の実施 ④ 上記の各項目について事業部推進責任者へ報告 ⑤ 自施設の各種環境関連文書の記録及び保管管理 ⑥ 従業員への環境関連の教育・訓練の実施
全従業員	① 環境経営方針の理解と環境への取組みの重要性の自覚 ② 環境活動実施計画に基づく自主的、積極的な活動参加 ③ 環境コミュニケーションの実施、報告（お客様の声） ④ 環境記録の作成・管理

5. 全社中長期目標及び環境経営活動計画







■ 全社中長期目標 ■

2019年度を基準年度とした3カ年計画を下表の通り設定致しました

環境目標項目		単位	基準年度	目標値				
			2019年度	2020年度	2021年度	2022年度		
1	省エネルギー化推進によるCO ₂ 排出量削減※	CO ₂ 排出量	kg-CO ₂ /人	実績	基準年度比 2.0%減	基準年度比 4.0%減	基準年度比 6.0%減	
				2.009	1.968	1.928	1.888	
2	分別・リサイクル推進による廃棄物排出量削減（一般事業系）	廃棄物排出量	g/人	実績	基準年度比 1.0%減	基準年度比 2.0%減	基準年度比 3.0%減	
				36.15	35.79	35.43	35.07	
				発生量	62.16	—	—	—
				リサイクル量	26.01	—	—	—
		リサイクル率	%	41.84	—	—	—	
3	食品リサイクル率の向上	発生量	g/人	36.42	—	—	—	
		リサイクル量	30.96	—	—	—		
		リサイクル率	%	85.00	86.00	87.00	88.00	
4	節水による排水量削減	排水量	L/人	49.593	49.097	48.601	48.105	
6	eco 検定合格(受検)による環境意識の向上	合計者数	2017年度末 (在籍合格者数)	2018年度	2019年度	2020年度		
			174名	20名	20名	20名		
7	上記項目の全スタッフ・お客様への啓発	<ul style="list-style-type: none"> ●全スタッフ及びパートナー企業様への教育を兼ねて、掲示等による啓発活動の実施。 ●お客様へ掲示物による活動へのご理解、ご協力を呼びかけ（促進）実施。 						

※購入電力の二酸化炭素排出係数：0.529kg-CO₂/kWh（四国電力2016年実績）

■ 環境目標項目達成に向けてのeco活動計画 ■

SDGsターゲット	環境目標項目	eco活動取組内容
	1 省エネルギー化推進による 二酸化炭素排出量削減※ 電気使用量/ガス使用量の削減	① 空調温度の適正管理 (COOLCHOICEの実施) ② 不要照明の適正管理 (ON/OFF管理と確認徹底) ③ グリーン購入対象機器等の更新促進
	2 分別・リサイクル推進による廃棄物排出量削減(一般)	① 缶・ビン・ペットボトルの分別/リサイクルの推進 ② 紙ごみの分別/リサイクルの推進 ③ ミスコピーの廃絶 (印刷前の倍率・サイズ等の再確認)
	3 食品リサイクル率の向上	① 食品材料の有効利用による発生抑制 ② 食品廃棄物の分別徹底/再生利用 ③ 食品廃棄物の水切り/乾燥による減量
	4 節水による総排水量削減	① 適正水量調整による使用水量削減 (節水コマ等の活用) ② 水使用場所での節水の呼掛け徹底
	5 eco検定合格(受検)による環境意識の向上	① 全スタッフのeco意識向上の為の計画的な受験奨励 ② エコピープルの増加と環境問題への意識向上
	6 全スタッフ/お客様への環境配慮啓発活動	① 全スタッフへの周知徹底 (ミーティング/掲示等の有効利用) ② 定期的な実績報告による取組意識の維持向上 ③ 3010運動の推進 ④ グリーン購入の推奨

6. 今年度の環境目標及び活動計画・実績

■ 全社実績集計 ■

穴吹エンタープライズ㈱：全社集計

環境目標項目	実績評価 (原単位：利用者人数1人当たり)			昨年度との実績比較								
	①目標値	②実績値	③評価 (②-①)	環境目標項目	単位	2018年度実績	2019年度実績	対前年度比				
				利用者人数	人	2,757,444	3,248,662	117.8%				
①省エネルギー化推進によるCO ₂ 排出量削減	2.356	2.009	clear! ▲ 0.347	CO ₂ 排出量	kg-CO ₂	6,570,527	6,525,215	99.3%				
				使用実績内訳 (kg-CO ₂) / 利用者数	電気	kWh	8,721,371	8,663,194	99.3%			
					灯油	ℓ	1,116	617	55.3%			
					A重油	ℓ	17,900	20,550	114.8%			
					都市ガス	m ³	438,384	453,414	103.4%			
					プロパンガス	kg	273,099	256,037	93.8%			
					ガソリン	ℓ	26,856	26,480	98.6%			
					軽油	ℓ	7,235	6,109	84.4%			
②分別・リサイクル推進による廃棄物排出量削減 (一般事業系)	45.78	36.15	clear! ▲ 9.63	廃棄物排出量 (a) - (b)	t	121.211	117.453	96.9%				
				廃棄物量内訳 (g) / 利用者数	廃棄物発生量 (a)	t	198.576	201.664	101.6%			
					リサイクル量 (b)	t	89.589	84.212	94.0%			
					リサイクル率 (b) ÷ (a)	%	45.12	41.76	92.6%			
③食品リサイクル率の向上	74.68%	83.67%	112.03% clear!	食品廃棄物発生量 (c)	t	128.343	108.640	84.6%				
				食品リサイクル量 (d)	t	103.569	90.895	87.8%				
				リサイクル率 (d) ÷ (c)	%	80.70	83.67	103.7%				
④節水による総排水量削減	56.097	49.593	clear! ▲ 6.504	総排水量	m ³	143,096	161,111	112.6%				
				(ℓ) / 利用者人数								
⑤eco検定合格(受検)による環境意識の向上	前期までの累計合格者数	205名	2019年度受検者数	59名	7月合格者数	8名	12月合格者	9名	2019年度合格率	29%	在籍合格者数(2020.3.31時点)	184名
	⑥スタッフ・お客様への啓発活動											
<ul style="list-style-type: none"> ・全スタッフ及びご協力会社様への教育を兼ねて、掲示などによる啓発活動の推進。 ・お客様への掲示物などによる活動への理解促進・ご協力要請の推進。 												

※CO₂排出係数について、全施設での係数を0.529kg-CO₂/kWhとします。(四国電力2016年実績)

■ 環境管理責任者からのコメント ■

※エコアクションを文中では、EA21 と表記します

執行役員 管理本部長：須崎 隆二



<今年度の振り返り>

弊社の事業における一年を振り返ってみると、スーパーゴールデンウィークと新元号『令和』への改元に始まり、新型コロナウイルス感染拡大による事業の自粛と事業環境が大きく変わった一年でした。また、夏場の各地での豪雨被害、連続した台風の首都圏直撃、全国各地での地震発生増など自然環境の悪化も進んだように思います。現在、エコアクション 21 の対象施設は 12 施設です。施設運営事業におけるエネルギー管理は気候変動に大きく左右されます。

このような環境下、今年度の実績は、省エネルギー、分別リサイクル、食品リサイクル率、節水による総排水量削減等について、全社合計では目標値をクリアすることができました。施設単位での集計を見ると未達成項目があります。緊急事態宣言が解除になりましたが、十分な形での営業が再開できない施設が多くあります。

未達成施設においては、新しい生活スタイルと事業の復調を鑑み、原因の把握、目標の見直し等 PDCA サイクルの継続を図ります。

新たな取り組みとしては、ホテル事業において『エコマーク』の認定取得に取り組んでおります。現在、リーガホテルゼスト高松、高松国際ホテル等 3 施設で取得いたしました。今後も認定取得の拡大を目指します。

環境経営システムについては概ね良好に運用されております。また、環境関連法令の違反や訴訟の事例はありません。現在、新たに施行になった法令についても事業活動に大きく影響する改正等はありません。包装容器リサイクル法が 7 月に改正施行されます。関連する事業においては法対応を進めております。

<次年度の活動について>

エコアクション 21 認証を取得し 10 年が経過しました。今後は独自に設けた目標及び基準にて環境経営を推進し、地域社会に貢献できる活動を継続します。最後に延べ 10 年にわたり認証をいただいた事務局と審査をお願いしました審査人の方にお礼申し上げます。

各施設共通目標の活動実績と評価

★グリーン購入の実施



グリーン購入については、各施設にて、白熱電球の LED 化推進、厨房機器等の高効率機器への更新、事務用品等のエコマーク製品の購入を推進して来ました。今後も継続して行きます。

★スタッフの環境知識・意識の向上を目的とした eco 検定合格(受検)

弊社では、継続的なエコ活動を環境経営計画や環境経営方針の中で目標として掲げ、取組んで参りました。順調にエコピブルも増やしております。今後は《全社員の合格》を目指して取組みを進める事は勿論、エコピブルを核としたエコユニットを結成し、環境活動推進の更なるボトムアップを図りたいと思えます。

★環境配慮意識をスタッフやお客様にご理解いただくための啓発活動

弊社では、お客様に満足して頂ける安全で快適な環境を提供できるよう、施設環境の向上と環境負荷に配慮した商品とサービスの提供に努めています。各施設において弊社の環境取組みについて掲示等による啓発活動を実施し、お客様やパートナー企業様のご理解・ご協力を得られるよう努めて参りましたが、まだまだ不十分と言えます。さらなる啓発活動に努め、エコ活動の輪を一層広げて行きたいと思えます。

■ サービスエリア&リゾート事業部 ■

※原単位：利用者 1 人当たり

①省エネルギー化推進による CO₂ 排出量削減

原単位目標と実績・評価		2018年度	2019年度	2020年度
kg-co ²	目標	1.154	1.131	
	実績	1.158	0.930	
	評価	×	○	

②分別・リサイクル推進による廃棄物排出量削減 (一般廃棄物)

原単位目標と実績・評価		2018年度	2019年度	2020年度
g	目標	23.9	23.6	
	実績	23.5	19.6	
	評価	○	○	

③食品リサイクル率の向上

達成率目標と実績・評価		2018年度	2019年度	2020年度
%	目標	93.80	94.80	
	実績	93.17	93.14	
	評価	×	×	

④節水による総排水量削減

原単位目標と実績・評価		2018年度	2019年度	2020年度
ℓ	目標	25,324	25,068	
	実績	20,766	16,243	
	評価	○	○	

～事業部推進責任者からのコメント～

サービスエリア&リゾート事業部 推進責任者：馬場 茂

アルファ津田CCでは近年施設の老朽化による漏水等により総排水量に影響を与えてきたが、早期発見の為に活動によって最小限に食い止めることができています。津田の松原・上板SAでは積極的なリサイクルで廃棄物の削減が定着し、クアパークやクアタラソでは合同清掃や「星の観望会」の実施など、お客様に対しての啓蒙活動も実施した。事業部全体では、お客様のポイントカードや会議資料のペーパーレス化も進み、総合的に環境活動に対する意識は浸透、省エネルギー化の推進も活性化している。今後も事業部内外の事例を積極的に水平展開し、継続的に環境活動に取り組む。



■ ホテル事業部 ■

※原単位：利用者 1 人当たり

①省エネルギー化推進による CO₂ 排出量削減

原単位目標と実績・評価		2018年度	2019年度	2020年度
kg-co ²	目標	8.509	8.336	
	実績	8.840	8.642	
	評価	×	×	

②分別・リサイクル推進による廃棄物排出量削減 (一般廃棄物)

原単位目標と実績・評価		2018年度	2019年度	2020年度
g	目標	159.5	157.9	
	実績	160.7	137.1	
	評価	×	○	

③食品リサイクル率の向上

達成率目標と実績・評価		2018年度	2019年度	2020年度
%	目標	69.79	70.79	
	実績	72.08	75.38	
	評価	○	○	

④節水による総排水量削減

原単位目標と実績・評価		2018年度	2019年度	2020年度
ℓ	目標	190,099	188,179	
	実績	199,885	201,704	
	評価	×	×	

～事業部推進責任者からのコメント～

ホテル事業部 推進責任者：島田 裕之

ホテル事業部は、CO₂排出、節水目標が未達成となり、やや残念な結果になった。地球温暖化の影響は、ここ数年の猛暑、豪雨、台風等、既に身近に感じられるレベルになってきています。「50年に一度」の記録的・・・がもはや毎年のように起こっているのです。地球温暖化にしても人口減少問題にしても、強烈な被害を受けるのは今の若い世代が私の年齢になる頃からです。地球が絶望的な状況にならないように出来る事は実行するのが今を生きる私達の責任です。少し大きな話になりましたが、一人一人が今一度、環境活動の意義を認識し、身の回りのことから取り組んでいくことが大切です。



倉敷事業部

※原単位：利用者 1 人当たり

①省エネルギー化推進による CO₂ 排出量削減

原単位目標と実績・評価		2018年度	2019年度	2020年度
kg-co ²	目標	4.606	4.512	
	実績	5.148	4.878	
	評価	×	×	

②分別・リサイクル推進による廃棄物排出量削減 (一般廃棄物)

原単位目標と実績・評価		2018年度	2019年度	2020年度
g	目標	51.5	51.0	
	実績	25.6	84.3	
	評価	○	×	

③食品リサイクル率の向上

達成率目標と実績・評価		2018年度	2019年度	2020年度
%	目標	78.76	79.76	
	実績	79.20	86.85	
	評価	○	○	

④節水による総排水量削減

原単位目標と実績・評価		2018年度	2019年度	2020年度
ℓ	目標	260,563	257,931	
	実績	238,464	564,151	
	評価	○	×	

～事業部推進責任者からのコメント～

倉敷事業部 推進リーダー：松尾 直毅

食品リサイクル率の向上は成果がありましたが、それ以外の項目は目標未達となりました。旅館の宿泊客の増加、前年豪雨被害の影響もあり、CO₂やごみの排出量、水道の使用を少し抑えたことが考えられます。しかし、廃棄物排出量と総排水量は前年データと比べ差が大きいので、原因を調査し、来年度はより正確なデータ収集を行います。珈琲館では、野生ジャガールの保護に役立てられる「ジャガーハニー」という珈琲豆の焙煎販売を行いました。ブランドイメージを大切に、少しずつ改善していきたいと思っています。



関連事業部・管理本部

※原単位：利用者 1 人当たり

①省エネルギー化推進による CO₂ 排出量削減

原単位目標と実績・評価		2018年度	2019年度	2020年度
kg-co ²	目標	-	-	
	実績	-	-	
	評価	-	-	

②分別・リサイクル推進による廃棄物排出量削減 (一般廃棄物)

原単位目標と実績・評価		2018年度	2019年度	2020年度
g	目標	-	-	
	実績	-	-	
	評価	-	-	

③食品リサイクル率の向上

達成率目標と実績・評価		2018年度	2019年度	2020年度
%	目標	-	-	
	実績	-	-	
	評価	-	-	

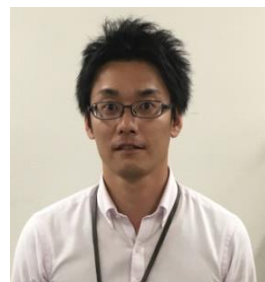
④節水による総排水量削減

原単位目標と実績・評価		2018年度	2019年度	2020年度
ℓ	目標	-	-	
	実績	-	-	
	評価	-	-	

～事業部推進責任者からのコメント～

関連事業部・管理本部 推進責任者：山地 和明

総合評価として、各環境目標は達成という結果となりました。本年度の新たな取り組みとしては、防災センターの体験見学やビル消防訓練への参加が挙げられます。従業員の危機管理意識向上へ良い機会になったと感じるため、継続して参加・実施をしたいと思っております。前年度から引き続いての活動とはなりますが、ペーパーレス推進の為に社内文書電子化については、今年度も適用文書を増やしており、一定の成果が上がっていると思っております。しかし、まだ適用可能な文書も多くあるため、今後も継続しての取り組みは必至だと考えます。本社部門のいうことで活動範囲に制約があるものの、出来る活動を確実に実施し、他部門への展開も図っていきたく思います。



7. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

当社の活動に係る環境関連法規等の遵守には、日頃から注意を払っております。
下記に今年度の遵守状況の概要をご報告致します。

(1) 適用となる主な環境関連法規

環境関連法規制等	対応状況
食品リサイクル法	86.8%達成。 昨年6月に定期報告済み。適正に管理・記録しています。 (食品リサイクル基準実施率：44%)
廃棄物処理法	3R活動の推進により、廃棄物排出量の抑制に努めており、産業廃棄物の排出においても適正に管理しています。
自動車リサイクル法	管理本部にて社用車入替え、適正に対応しています。
家電リサイクル法	対象商品の廃棄時は適正に手続きをしています。
小型家電リサイクル法	対象商品の廃棄時は適正に手続きをしています。
下水道法	排水グリストラップの日常清掃等により、より、環境負荷の少ない排水を放流しています。
省エネ法	常日頃、節電に努めると共に、省エネ機器への更新等実施しています。 定期の届出も適正に実施しています。
容器包装リサイクル法	お客さまのご協力を得ながら、容器包装の発生抑制に努めています。 また、定期の使用量報告、費用負担も適正に実施しています。
大気汚染防止法	対象機器保有施設において、煤塵発生量測定等適正に実施しています。
フロン排出抑制法	各施設において適正に機器点検を実施し、管理・記録しています。
その他の法規制等	各施設において適正に管理・記録しています。

(2) 遵守状況評価結果ならびに違反、訴訟等の有無

① 遵守状況評価結果について

環境関連法規等の取りまとめ表および遵守状況チェック表で各施設とも問題の無いことを確認しました。

② 違反、訴訟等について

各施設において、適正に管理されており、関連機関からの違反等の指摘・環境関連の訴訟も過去5年間有りません。

9. 各施設環境活動報告《目次》

各施設での1年間（2019年4月～2020年3月）の活動をレポートにまとめました。

■ 1.SA&リゾート事業部

- 1-1. 津田の松原サービスエリア ①
- 1-2. クアパーク津田・クアタラソさぬき津田 ②
- 1-3. アルファ津田カントリークラブ ③
- 1-4. 上板サービスエリア ④

■ 2.ホテル事業部

- 2-1. 高松国際ホテル ⑤
- 2-2. チサンイン高松 ⑥
- 2-3. ロイヤルパークホテル高松 ⑦
- 2-4. 琴平パークホテル ⑧
- 2-5. リーガホテルゼスト高松 ⑨

■ 3.倉敷事業部

- 3-1. 旅館くらしき・倉敷珈琲館 ⑩

■ 4.関連事業部・管理本部

- 4-1. 管理本部（フーズケア課・ストアマネジメント課） ⑪

公民連携（PPP）事業部については、《ISO14001》にて運用しており関連資料は、下記にて公表しております。

https://www.anabuki-enter.jp/gain/iso_01.html

1-1.津田の松原サービスエリア

【運用期間：2019年4月～2020年3月】

■施設紹介

(2001年4月より㈱さぬき市SA公社から運営を受託し業務開始)

日本の渚百選瀬戸内海「津田の松原」を眼下に望む『津田の松原SA』内で飲食物の提供と土産物の販売をしています。

レストランでのお食事のほか、本場讃岐うどん「あなぶき家」、お土産・売店では地域特産品を多数ご用意し、香川県外・県内のお客様のおもてなしをさせていただいております。

所在地：

(上り線) 香川県さぬき市津田町鶴羽935-5

(下り線) 香川県さぬき市津田町鶴羽939-1

施設規模：延床面積 2,248㎡

開業：平成13年(2001年)



■今年度の実績評価

環境目標項目	単位	実績値評価 (原単位：利用者人数1人あたり)				環境目標項目	実績
		①目標値	②実績値	③評価 (②-①)			
1.省エネルギー化推進によるCO ₂ 排出量削減 ^{※1}	kg-CO ₂ /人	0.542	0.411	○ ▲0.131	6.eco 検定合格(受検)による環境意識の向上	4名合格	
2.分別・リサイクル推進による廃棄物排出量削減 (食品廃棄物を除く)	g/人	15.7	14.3	○ ▲1.404			
3.食品リサイクル率の向上	%	100	100	○ -	7.スタッフ・お客様への啓発活動	・ミーティングの実施(月一度)	
4.節水による総排水量削減	ℓ/人	6,860	4,742	○ ▲2,118			

※1：CO₂排出係数は、0.529kg-CO₂/kWhとします。(四国電力2016年実績)

●活動実績及びその評価●

☆エコ検定の合格者数 目標に対して33%の結果(8月：4名受検 1名合格 12月：2名受検 1名合格)

☆省エネルギー化推進によるCO₂排出量削減、分別・リサイクル推進による廃棄物排出量削減、節水による総排水量削減については、目標値をクリア

☆食品リサイクル率の向上については、100%維持

☆ゴールデンウィークの10日連休、台風などの災害被害が少なかったことにより大幅な来店人数があった。(前年比較 +577,218人)

■省エネルギー化推進によるCO₂排出量削減活動について■

☆『カーボン・オフセット』オフセット量購入【4t-CO₂】購入 2019年 6月11日

☆ガス使用量削減 平日うどん釜1基のみで対応継続

☆クールビズ、ウォームビズの推進

☆店舗のLED(黒ずみ、ちらつき、明るさ低減、老朽化による)の更新を実施

■分別・リサイクル推進による廃棄物排出量の削減について■

☆エコ箸の推進継続(上り線)

☆段ボールリサイクル(実績：40,140kg)

■食品リサイクル率の向上について■

☆うどんだしで使用したいりこを『いりこのかきあげ』に加工しての販売

■節水による総排水量削減について■

☆まとめ洗いの継続

☆水漏れ防止のためパッキン等の交換

■スタッフ、お客様への啓発活動について■

☆エコミーティングの継続(月1回)

☆利用していない時のバックヤード(休憩室、更衣室等)の電気消灯

●次年度の取組内容について●

☆エコ検定合格者 目標 4名

☆バックヤード(倉庫、休憩室、更衣室等)の蛍光灯 LED化

☆レジ袋有料化

☆エコバックの推進(自社商品販売)



以上

1-2.クアパーク津田/クアタラソさぬき津田

【運用期間：2019年4月～2020年3月】

■施設紹介 (1996年11月より(株)さぬき市SA公社から運営を受託し業務開始)

クアパーク津田 (国民宿舎松琴閣)

「津田の松原」の東端に位置し、瀬戸内海を望む砂浜に面した宿泊施設、会議室、研修室、ホール、入浴施設、レストラン等を有する多目的施設です。

地域と一体となった運営をし、広くご利用いただいております。

所在地：香川県さぬき市津田町松原地内
 施設規模：延床面積 2,422㎡
 (地下1階・地上3階、客室数：26室)
 開業：昭和37年(1962年)



■今年度の実績評価

クアタラソさぬき津田

温水プール、入浴施設、トレーニングジムを主体として健康増進を目的とした地域密着型施設です。

隣接のクアパーク津田と、連絡通路で結ばれており、一体的な利用が可能です。

所在地：香川県さぬき市鶴羽24-2
 施設規模：延床面積 1,885㎡
 開業：平成5年(1993年)



環境目標項目	単位	実績値評価 (原単位：利用者人数1人あたり)				環境目標項目	実績
		①目標値	②実績値	③評価 (②-①)			
1.省エネルギー化推進によるCO ₂ 排出量削減※1	kg-CO ₂ /人	9.012	9.758	×	0.747	6.eco 検定合格(受検)による環境意識の向上	合格者なし
2.分別・リサイクル推進による廃棄物排出量削減 (食品廃棄物を除く)	g/人	115.6	142.5	×	26.910		
3.食品リサイクル率の向上	%	100	100	○	-	7.スタッフ・お客様への啓発活動	・スタッフにゴミの出し方(分別)、節電(電気、エアコン)を教育
4.節水による総排水量削減	ℓ/人	234.220	220.743	○	▲13.477		

※1：CO₂排出係数は、0.529kg-CO₂/kWhとします。(四国電力2016年実績)

●活動実績及びその評価●

クアパーク：従業員による津田海岸及び敷地内の清掃活動(7/9)

クアタラソ：○シーカヤックのお客様(特に子供)に対して津田湾の海洋生物とのふれあいをさせていただいた
 ○夏休みに星の観測会を実施星のボランティアスタッフさんご協力のもと土星などの観望ができた

■省エネルギー化推進によるCO₂排出量削減活動について■

クアパーク：○一年を通じて、お風、プールに保温シートカバーを実施
 ○閑散日の客室フロア売り止めと消灯を随時実施
 ○気温に応じてボイラー稼働基数を調整

クアタラソ：ゴーヤのグリーンカーテン実施

■分別・リサイクル推進による廃棄物排出量の削減について■

クアパーク：○ファックスによる宿泊予約通知を廃止
 ○朝食券を使い捨てのペーパーからラミネート加工の物に変更

クアタラソ：紙ベースのポイントカードに代わる昨年からのスタートのLINEショップカード総登録数749名(3月末)となりペーパーレス化へ前進

■食品リサイクル率の向上について■

クアパーク：○先々の夕食、朝食数を算出、調理と情報共有することで食材発注、仕込みに伴うロス軽減。
 ○食べ残しの多い夕食の会席料理及び法要メニューの献立を見直し。

■節水による総排水量削減について■

クアパーク：○洗浄回数を減らすために、使用食器数の見直しや食材保管容器の工夫など調理・料飲スタッフへの啓もう活動
 クアタラソ：8月の台風の影響でプール水の急遽入れ替え等があり、上水の使用が上がった。

■スタッフ、お客様への啓発活動について■

クアタラソ：クールビス・ウォームビスのポスター館内掲示スタッフへの水・ガス削減への協力・ミーティングの実施

●次年度の取組内容について●

クアパーク：宿泊者向け食事内容の見直しによる廃棄量削減

クアタラソ：機械室スタッフへのガス着火時間の見直し(表作成) クアタラソ：館内空調機一部更新予定。お客様を巻き込んだエコ啓蒙活動実施。



以上

1-3.アルファ津田カントリークラブ

【運用期間：2019年4月～2020年3月】

■施設紹介

瀬戸内 View が眼前に広がる、「津田コースNo1ホール」からスタート。スポーツとしての純粋なゴルフを楽しむコースをご用意しております。

所在地：香川県さぬき市寒川町神前 647-16
 施設規模：18ホール・6,262ヤード・パー72
 創業：昭和60年（1985年）
 開業：平成17年（2005年）



■今年度の実績評価

環境目標項目	単位	実績値評価 (原単位：利用者人数1人あたり)			環境目標項目	実績
		①目標値	②実績値	③評価 (②-①)		
1.省エネルギー化推進によるCO ₂ 排出量削減 ^{※1}	kg-CO ₂ /人	9,117	8,190	○ ▲0.927	6.eco 検定合格（受検）による環境意識の向上	4名合格
2.分別・リサイクル推進による廃棄物排出量削減 (食品廃棄物を除く)	g/人	43.1	40.3	○ ▲2.784		
3.食品リサイクル率の向上	%	/			7.スタッフ・お客様への啓発活動	・ミーティングの実施（月一度）
4.節水による総排水量削減	ℓ/人	294,980	236,922	○ ▲58,058		

※1：CO₂排出係数は、0.529kg-CO₂/kWhとします。（四国電力2016年実績）

●活動実績及びその評価●

☆全ての項目において目標を達成することができました。要因として水漏れしていた配管の修繕工事や廃棄物排出量が昨年に比べて少し多くなりましたが、その中で、リサイクルに回す量を増やすことができた等が挙げられます。
 ☆施設の環境目標を地域の方々と協力して地域資源の保全を行うとしており、冬季に行ったコースに隣接している地域の方々と共同で使用している池に溜まっていたゴルフボールの回収活動は地域資源の保全に貢献できたと思えます。

■省エネルギー化推進によるCO₂排出量削減活動について■

☆昨年度に比べて電力・ガスの消費量は増加しましたが、大幅な増加ではないうえに利用者数が4,000人近く増加したこともあり目標を達成出来ました。
 ☆昨年同様にセルフデー（ロッカー・風呂使用不可）の営業日が増えた影響もありますが、引き続きお客様にもご協力を頂きスタッフ全員で節電をはじめエネルギー消費量削減に努めていきます。

■分別・リサイクル推進による廃棄物排出量の削減について■

☆昨年度に比べて利用者数が4,000人近く増加したこともあり、総排出量は増加しました。ただし、内訳として昨年度に比べてリサイクル量が増加しています。そのことに関しては、お客様のご協力を頂きゴミの分別がスムーズに行えた事と段ボールや捨てる紙は必ずシュレッダー処理をしてリサイクルに回す意識がスタッフ全員に浸透できた結果であると思えます。

■節水による総排水量削減について■

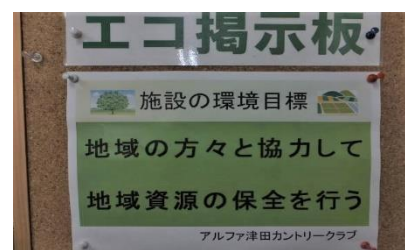
☆利用者数が増加しましたが目標を達成することが出来ました。要因としては昨年の春先に貯水槽へつながる配管で水漏れが発覚し、修繕工事を行ったことが挙げられると思えます。ただし、修繕工事を行いましたが出箇所でも水漏れが発覚しており引き続きスタッフ及びお客様への啓発活動を行い、節水への協力をお願いしていきます。

■スタッフ、お客様への啓発活動について■

☆スタッフには捨てる紙類はシュレッダー処理・不要な段ボールは必ずリサイクルへという取り組みを徹底しました。
 ☆お客様には節水への啓発表示を増やしてご協力をお願いし、昨年同様に不要になったゴルフボールの回収活動にもご協力をして頂きました。
 ☆事務所に施設の環境目標を掲示して地域資源の保全に対して意識向上を図りました。

●次年度の取組内容について●

☆地域資源の保全の為にコース内の清掃活動の強化に委託となりましたが、コース管理のスタッフと協力して全員で取り組みます。
 ☆電気使用量削減の為、各部署・全スタッフに対して啓発表示を増やして取り組みます。また、LED電球の使用促進に努めます。
 ☆エコ検定合格率向上に取り組みます。



以上

1-4.上板サービスエリア

【運用期間：2019年4月～2020年3月】

■施設紹介

(2014年2月より西日本高速道路サービス・ホールディングス(株)から運営を受託し業務開始)

ショッピングコーナーでは、さまざまなお土産をラインナップしています。スナックコーナーでは、ラーメンやうどん等の麺類をはじめ、各種どんぶりや定食メニューと、種類豊富な品々からお選びいただけます。

所在地：

(上り線) 徳島県板野郡上板町神宅字菖蒲谷 72-3

(下り線) 徳島県板野郡上板町大字神宅字山田 99-16

施設規模：延床面積 1,660 m²

開業：平成26年(2014年)



■今年度の実績評価

環境目標項目	単位	実績値評価 (原単位：利用者人数1人あたり)				環境目標項目	実績
		①目標値	②実績値	③評価 (②-①)	④評価 (②-①)		
1.省エネルギー化推進によるCO ₂ 排出量削減※1	kg-CO ₂ /人	0.735	0.854	X	0.118	6.eco 検定合格(受検)による環境意識の向上	合格者なし
2.分別・リサイクル推進による廃棄物排出量削減 (食品廃棄物を除く)	g/人	16.7	16.2	○	▲0.429		
3.食品リサイクル率の向上	%	34.17	34.23	○	0.05	7.スタッフ・お客様への啓発活動	SA入り口の風除室へ啓蒙POP展開 従業員休憩室へのエコデータ掲示
4.節水による総排水量削減	ℓ/人	8.820	9.392	X	0.572		

※1：CO₂排出係数は、0.529kg-CO₂/kWhとします。(四国電力2016年実績)

●活動実績及びその評価●

☆CO₂排出量削減に関して大幅に未達成となりました。

原因としては2月下旬以降のコロナウィルス影響によるお客様の立ち寄り率の減少による施設利用者数の大幅減と考えられます。

☆それ以外の項目に関してはギリギリの物を含め全て達成しており、年間の取り組みが実績に繋がっていると考えます。

■省エネルギー化推進によるCO₂排出量削減活動について■

☆開店時と閉店時の前後2～3時間の閑散時間帯にはフライヤーの使用を半分などにし省エネ推進を図りました。

☆営業時間外の無駄な電灯の消灯。必要に応じた小まめな電灯の入り切りの実施。

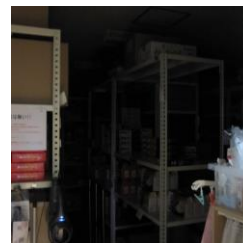


■分別・リサイクル推進による廃棄物排出量の削減について■

☆事務所内のデータや資料のやり取りを共有フォルダを利用し紙ベースでの印刷を削減。

☆道路公団の季刊発行物の配布量を更に見直し廃棄量の削減。

☆プラを使用しない包装形態の物産への切替。



■食品リサイクル率の向上について■

☆油の使用期限を見直すことで油自体の使用量を削減させました。

☆過剰発注を避け例年の販売実績に基づいた発注の実践。

■節水による総排水量削減について■

☆例年の活動の踏襲ではありますがフードコートとレストランの洗浄機利用に一番重きを置きました。

無駄な洗浄を減らす。手洗いで済ませれる物は洗浄機利用しないなど今後も活動継続します。

■スタッフ、お客様への啓発活動について■

☆SA入口の風除室での啓蒙POPやポスターの掲示。

☆従業員休憩室壁を利用し月毎のエコデータの掲示。



●次年度の取組内容について●

☆エコ検定の合格者を最低1名は出す。試験2ヶ月前からシフト組み段階から勉強のフォローを行う。

☆レジ袋をバイオマスレジ袋への切替。

以上

■ 2-1.高松国際ホテル

【運用期間：2019年4月～2020年3月】

■ 施設紹介

東京オリンピックが開かれた1964年(昭和39年)に創業した「高松国際ホテル」。以来、皇室をはじめとする多くの賓客をおもてなししてきた伝統と実績。優しく、あたたかなサービスでお客様をお迎え致します。

所在地：香川県高松市木太町2191-1
 施設規模：地上5階建
 延床面積：3,340坪 客室数：101室
 創業：昭和39年(1964年)10月
 開業：平成13年(2001年)5月



■ 今年度の実績評価

環境目標項目	単位	実績値評価 (原単位：利用者人数1人あたり)				環境目標項目	実績
		①目標値	②実績値	③評価 (②-①)	④評価 (②-①)		
1.省エネルギー化推進によるCO ₂ 排出量削減※1	kg-CO ₂ /人	7.673	8.263	×	0.590	6.eco 検定合格(受検)による環境意識の向上	7名合格
2.分別・リサイクル推進による廃棄物排出量削減 (食品廃棄物を除く)	g/人	157.8	131.7	○	▲26.052		
3.食品リサイクル率の向上	%	80.17	86.44	○	6.27	7.スタッフ・お客様への啓発活動	・館内掲示物による活動へのご理解、ご協力を呼びかけ
4.節水による総排水量削減	ℓ/人	143.080	199.787	×	56.707		

※1：CO₂排出係数は、0.529kg-CO₂/kWhとします。(四国電力2016年実績)

●活動実績及びその評価●

今年度の新たな取り組みとして、廃棄物量の集計入力を各部署でおこない、廃棄物削減意識の啓発をおこなったが、食品リサイクルの向上はできなかったものの、その他の部分で目標に届かなかった。

3010運動の推進として、宴会打ち合わせ時での案内、館内表示、宴会卓上へPOPの設置、施行当日において進行打ち合わせ時に幹事及び司会者へ協力の要請等をおこなった。

全般的に省エネルギー、廃棄物削減に対する意識向上への活動が不十分であったと思われる。

今後の取り組みとしてさらなる環境意識向上への施策が必要である。



■省エネルギー化推進によるCO₂排出量削減活動について■

夏季及び冬季のエアコンの段階的な稼働、退社時のパソコンシャットダウンの徹底など活動をおこなったが、ガス使用量は前年実績を下回ったが、電気使用量は目標及び前年実績も上回ってしまった。

今年度は猛暑、寒波の影響もあったが、エアコンの段階的な稼働、適正な温度設定などが十分ではなかった。

■分別・リサイクル推進による廃棄物排出量の削減について■

年初に廃棄物が増加傾向にあったため、毎月のCSミーティングにおいて各上長へ廃棄前の水切りの徹底の周知、活動をおこなっていたところ前年の実績は下回ったものの、目標値を上回ってしまった。

■食品リサイクル率の向上について■

食品リサイクル率 実績 82.07% 前年実績 81.20% 対比+0.87ポイント

毎回、宴会前ミーティングにおいて、スタッフ、派遣スタッフへリサイクル生ゴミの分別について周知と指導をおこなった。

■節水による総排水量削減について■

各所にステッカーを貼り、節水意識の啓発をおこなっていたが、前年からは削減できたものの、目標には届かなかった。



■スタッフ、お客様への啓発活動について■

前年までは各部署で廃棄物計量までおこなっていたが、意識啓発のため今年度より数値の入力を各部署でおこなうこととした。

3010運動の推進として、宴会打ち合わせ時での案内、館内表示、宴会卓上へPOPの設置、

施行当日において進行打ち合わせ時に幹事及び司会者へ協力の要請等をおこなった。

主に忘新年会シーズンに実施 実績約110件

●次年度の取組内容について●

各部署上長に対し毎月の振り返りと取り組みの啓発をおこないます。

エアコンの段階的な運転

お客様に対しクールビズ、ウォームビズの啓発

さらにエコ検定合格者数の向上、地震に対する防災訓練、さらなるLED化を進めていきます。



以上

2-2.チサングランド高松

【運用期間：2019年4月～2020年3月】

施設紹介

(2018年7月「チサン イン高松」から「チサングランド高松」としてリニューアルオープン。)

ロープライスと快適性をハイレベルに融合したホテル。

高松の繁華街に位置し、充実のアメニティとファシリティ、全室に無料のインターネット回線を完備し、お客様の大切なつろぎのひと時をご提供いたします。

所在地：香川県高松市福田町11-1

施設規模：地上9階建

延床面積：889坪 客室数：117室

創業：昭和63年(1988年)9月



今年度の実績評価

環境目標項目	単位	実績値評価 (原単位：利用者人数1人あたり)				環境目標項目	実績
		①目標値	②実績値	③評価 (②-①)	④評価 (②-①)		
1.省エネルギー化推進によるCO ₂ 排出量削減※1	kg-CO ₂ /人	9.918	10.966	×	1.048	6.eco 検定合格(受検)による環境意識の向上	合格者なし
2.分別・リサイクル推進による廃棄物排出量削減 (食品廃棄物を除く)	g/人	216.6	231.5	×	14.914		
3.食品リサイクル率の向上	%	-				7.スタッフ・お客様への啓発活動	・通用口・事務所内にエコデータ、エコに関するポスター掲示
4.節水による総排水量削減	ℓ/人	504.700	305.868	○	▲198.832		

※1：CO₂排出係数は、0.529kg-CO₂/kWhとします。(四国電力2016年実績) ※2：食品リサイクル率は、朝食のみ提供で廃棄物が少ない為、目標値を設定していません。

●活動実績及びその評価●

スタッフのエコへの取り組みが評価され、8月に四国では初のエコマーク認定ホテルに認定された。

■省エネルギー化推進によるCO₂排出量削減活動について■

ロビー照明ならびに空調を24：00～6：00まで必要最低限を残して消灯、停止させています。宿泊者のいないフロアを作り、消灯できるようにコントロールしています。

■分別・リサイクル推進による廃棄物排出量の削減について■

シュレッダーゴミ廃棄を、古紙回収業者に依頼しリサイクルしています。プリンターカートリッジはすべてリサイクルしています。各スタッフ・清掃業者も意識してごみ分別を行っています。

■食品リサイクル率の向上について■

朝食のみ営業しており、利用予定人数を把握し無駄が出ないように準備しています。なるべく賞味期限の長いものを選び、期限切れの廃棄も出ないように努力しています。廃棄に関しては少量の為、一般廃棄物として処理しています。グリストラップ清掃も定期的に行っています。

■節水による総排水量削減について■

9月中にバスタブに水量シールを貼り、お客様へ節水の協力を求める取り組みを行った

■スタッフ、お客様への啓発活動について■

環境活動監視チェック表を事務所内に貼り検印
エコ関係のポスター掲示

●次年度の取組内容について●

- *電気使用量削減に向け、不要な電気は消灯を徹底
- *全スタッフエコ検定合格



以上

2-3.ロイヤルパークホテル高松

【運用期間：2019年4月～2020年3月】

■施設紹介

2016年8月25日にリニューアルオープンした、四国初のオールクラブフロアを取り入れたワンランク上のエグゼクティブホテル。ご宿泊のお客様専用のライブラリーラウンジ「シルク」、専用カードキーを取り入れたセキュリティ万全の客室で、チェックインからチェックアウトまで快適な時間をお約束します。

また、落ち着いた和の空間で日本料理を提供する日本料理「錦」、さまざまなニーズにお応えする地下1階の宴会場をご用意しております。

所在地：香川県高松市瓦町1-3-11
 施設規模：地下1階地上9階建
 延床面積：1,396坪 客室数：73室
 創業：平成元年（1989年）2月



■今年度の実績評価

環境目標項目	単位	実績値評価 (原単位：利用者人数1人あたり)				環境目標項目	実績
		①目標値	②実績値	③評価 (②-①)			
1.省エネルギー化推進によるCO ₂ 排出量削減※1	kg-CO ₂ /人	12,682	11,513	○	▲1,169	6.eco 検定合格(受検)による環境意識の向上	1名合格
2.分別・リサイクル推進による廃棄物排出量削減 (食品廃棄物を除く)	g/人	255.8	243.3	○	▲12,523		
3.食品リサイクル率の向上	%	65.85	67.44	○	1.59	7.スタッフ・お客様への啓発活動	不要箇所の消灯、客室 eco カードの運用でシート交換不要推進。
4.節水による総排水量削減	ℓ/人	248,920	221,688	○	▲27,232		

※1：CO₂排出係数は、0.529kg-CO₂/kWh とします。(四国電力2016年実績)

●活動実績及びその評価●

今年度は中間監査で他の施設と比較し食品リサイクル率の悪さが判明しました。

他のグループホテルで実行できている事がロイヤルパークホテル高松では、活動実績が低い事が判ったので再度、各スタッフへ食品リサイクルについて話し合いを行い目標基準をクリアできるように意識して活動することができました。

■省エネルギー化推進によるCO₂排出量削減活動について■

夜間24時から朝6時までは客室階以外の空調を停めています。

ロビー及び駐車場の照明も夜間24時から6時まで最低限の照明を残し消灯しています。

錦及びシルクでは、閉店後の消灯を速やかに行い、調理場への行き来は極力階段の利用を行っております。

例年に引き続き、エアコン、製氷機のフィルター清掃も行いエネルギー消費量に無駄が出ないように努めました。

■分別・リサイクル推進による廃棄物排出量の削減について■

シュレッダーゴミ廃棄を古紙回収専門業者に依頼しリサイクルしています。

プリンターカートリッジはリサイクル100%回収しています。

産業廃棄物保管場所を決め、分別して廃棄しています。



■食品リサイクル率の向上について■

シルクスタッフ、フロント、調理場でシルクの利用人数と朝食の人数の把握を行いなるべく食品ロスがでないように努めています。

ゴミ計量所に各セクション毎のゴミの記録簿を置いてあります。記録簿への記載の徹底をお願いしてまわっています。

■節水による総排水量削減について■

今年度も清掃業者をお願いをして浴室清掃時に水の出しっぱなしでの清掃を控えて頂いています。

調理スタッフによる定期的なグリストラップ清掃により汚水を出さないように努めています。

■スタッフ、お客様への啓発活動について■

従業員スペースにロイヤルのエコアクションのデータを掲示。見える化を実施。

1階事務所の空調を適温運転のお願いとウォームビズ・クールビズ啓発ポスターの掲示。

節水のお願いやマイカップの持参をお願いしています。

●次年度の取組内容について●

今年度の末期においてはコロナウイルスの影響で客足が遠のいてしまい、いかにエネルギーの消費量を抑えるかという事に例年以上にシビアに目を向ける事ができました。

次年度についてもエコアクションを行う上で全ての施設の課題である「エネルギー消費量を少なくする」という部分をチャンスと捉えて、 unnecessaryな空調及び照明、音響設備のオフなど徹底して行っていきたくと思います。



以上

2-4. 琴平パークホテル

【運用期間：2019年4月～2020年3月】

■施設紹介

こんびらさんの門前町の中で、数少ないビジネスタイプの「琴平パークホテル」。参拝など観光目的のお客様、出張でお越しになるビジネスマンにとって、お財布にやさしいホテルです。一日の疲れを癒す展望浴場など、様々な寛ぎのおもてなしもご用意しております。

所在地：香川県仲多度郡琴平町榎井 706-7
 施設規模：地上 8 階建
 延床面積：1,629 坪 客室数：88 室
 創 業：平成 17 年（2005 年）7 月



■今年度の実績評価

環境目標項目	単位	実績値評価 (原単位：利用者人数 1 人あたり)				環境目標項目	実績
		①目標値	②実績値	③評価 (②-①)			
1.省エネルギー化推進によるCO ₂ 排出量削減※1	kg-CO ₂ /人	8.967	10.666	×	1.699	6.eco 検定合格（受検）による環境意識の向上	2 名合格
2.分別・リサイクル推進による廃棄物排出量削減 (食品廃棄物を除く)	g/人	138.2	133.4	○	▲4.732		
3.食品リサイクル率の向上	%	/				7.スタッフ・お客様への啓発活動	<ul style="list-style-type: none"> クールビズ・ウォームビズの掲示、事務所エアコン温度の設定。 お得なプランで清掃不要や eco カドでシーツ交換不要を推進
4.節水による総排水量削減	ℓ/人	380.240	414.806	×	34.566		

※1：CO₂排出係数は、0.529kg-CO₂/kWh とします。(四国電力 2016 年実績) ※2：食品リサイクル率は、朝食のみ提供で廃棄物が少ない為、目標値を設定していません。

●活動実績及びその評価●

- ・年度前半については目標値を順調に達成していましたが、12月から館内改装工事の開始や宿泊人数の減少などが影響し省エネルギー化推進によるCO₂排出量削減目標は達成できませんでした。
- ・eco 検定においては、名受検 1 名・合格者 1 名

■省エネルギー化推進によるCO₂排出量削減活動について■

- ・チェックアウト後の客室において、照明・エアコンの OFF
- ・動きの無い 10：00～15：00 と深夜帯において、各フロアの廊下エアコンオフと、1F と 8F の一部消灯
- ・客室エアコンフィルター・客室エアコン吹き出し口の清掃を行い、詰まりによる非効率化防止。夏冬にはドレンポンプ清掃
- ・改装後客室の冷蔵庫を高効率なものに変更

■分別・リサイクル推進による廃棄物排出量の削減について■

- ・シュレッダーゴミ廃棄を古紙回収業者に依頼しリサイクル
- ・プリンターカートリッジのリサイクル回収（100%）
- ・予約システムの変更によって予約カードの大規模の削減

■食品リサイクル率の向上について■

- ・朝食のみのため、目標設定なし
- ・無駄が出ないように、計画的な発注を継続実施
- ・毎週木曜日にグリストラップの定期清掃を実施

■節水による総排水量削減について■

- ・展望浴場のアメニティ充実により、各部屋のシャワー利用削減を推進
- ・配管工事の為水道効率の上昇

■スタッフ、お客様への啓発活動について■

- ・事務所エアコンを夏季 28℃、冬季 20℃に設定。不要時の OFF 推進
- ・使用済みコピー用紙の再利用促進
- ・客室内ユニットバスのトイレトーパーポルダーに「上段からの使用を促す」カードの掲示

●次年度の取組内容について●

- ・ハードウェアが古いものが多く非効率と推測され、客室のエアコンの入れ替えなどで、高効率のものに変更推進
- ・お客様が不便なく、館内でのゴミを削減できる方策の提案、実施
- ・チェックインの際に展望浴場の利用促進
- ・ごみ回収業者変更（4月1日より）により、びんの処分を高松国際ホテルで実施
- ・客室内ユニットバスのトイレをスーパー節電モードに変更（便座温度・洗浄水温）
- ・厨房と事務所に節電・節水のシール掲示
- ・夏季（5月～10月）に、客室内温度上昇をおさえるため、清掃業務の際に遮光カーテンを閉める

新冷蔵庫



フィルター清掃後エアコン



グリストラップ清掃



以上

2-5.リーガホテルゼスト高松

【運用期間：2019年4月～2020年3月】

施設紹介

四国のゲートウェイである高松市の中心市街地に位置し、30年以上地元の皆様に愛され続ける老舗ホテル。

ビジネスや観光、ショッピングなど様々な用途にアクセスに至便なホテルです。レストランでは地元農家や漁師から直接仕入れる新鮮な素材を中心に、高松らしい美食をご用意。老舗ならではの伝統と実績、経験に培われたホスピタリティで、お客様をおもてなし致します。

所在地：香川県高松市古新町9-1
 施設規模：地下1階地上10階建
 延床面積：3,003坪客室数：122室
 創業：昭和55年(1980年)7月
 開業：平成24年(2012年)8月



今年度の実績評価

環境目標項目	単位	実績値評価 (原単位：利用者人数1人あたり)				環境目標項目	実績
		①目標値	②実績値	③評価 (②-①)	④評価 (②-①)		
1.省エネルギー化推進によるCO ₂ 排出量削減※1	kg-CO ₂ /人	6,492	7,555	×	1,064	6eco 検定合格(受検)による環境意識の向上	6名合格
2.分別・リサイクル推進による廃棄物排出量削減 (食品廃棄物を除く)	g/人	110.7	98.3	○	▲12.410		
3.食品リサイクル率の向上	%	64.36	60.60	×	▲3.76	7.スタッフ・お客様への啓発活動	・ホテル周辺清掃の実施による美意識向上
4.節水による総排水量削減	ℓ/人	131.320	150.227	×	18.907		

※1：CO₂排出係数は、0.699kg-CO₂/kWhとします。(四国電力2013年実績)

●活動実績及びその評価●

- ・今回は、分別・リサイクル推進による廃棄物排出量削減のみの達成となった。
- ・2月頃よりコロナの影響が出てきて、宿泊のお客様並びに宴会ご利用のお客様が減少し始め、エネルギー活用の効率化が落ちてきた。
- ・冷暖房空調は中央管理空調システムが故に、客室稼働率の減少していても、全館同様に作動しなければならない。個別空調システムでないこともあり、利用人数が大きく影響したとも考えられる。

■省エネルギー化推進によるCO₂排出量削減活動について■

- ・従業員用喫煙室の電気消し忘れが多かったため、人感センサーを取り付けて電力の削減を図った。
- ・ボイラー内で温水を作っているが、ボイラーにはNo.1とNo.2があって、No.1の不調による可能性あり。温水熱がうまく関係する配管内の温水に移っていかない減少が幾度か生じたこともあり、No.2と比較すると効率が落ちていることが原因で悪化と思われる。ボイラー実質運転時間も昨年度よりも長くなっている結果もあり。

■分別・リサイクル推進による廃棄物排出量の削減について■

- ・前期は缶、PETボトル、ピンを一緒に廃棄していたが、今期10月より缶&ペットボトルとピンの分別を開始した。宴会サービスがメインとはなるが、レストラン及び各厨房の協力により分別。客室から発生するピンに関しては、外部委託企業の方の協力依頼して実施。
- ①栓をはずしていない ②中身が残っている ③他の空き缶等を混ぜている 等の問題があり、各部署への要請が課題となっている。

■食品リサイクル率の向上について■

- ・3010運動の促進：宴会打合せ時のご案内、館内のポスター掲示、POPの配置、当日施行宴会においての幹事様や司会者様への協力要請は変わらず継続して実施しております。
- ・宴会利用人数が、対前年比87.3%と減少。

■節水による総排水量削減について■

- ・総排水量の原単位に関して、今期目標には▲0.019ℓ/人で未達成だったが、対前年比では+0.003ℓ/人という結果だった。

■スタッフ、お客様への啓発活動について■

- ・節水・節電を促す啓発表示物の掲示を前回より2倍増で各ポイントに貼付
- ・ホテル周辺の美化を目的として、毎月1回のホテル周辺掃き掃除は継続しております。

●次年度の取組内容について●

- ・MTGの時間短縮促進によりCO₂排出量削減に繋げる。
- ・会議における紙資料のペーパーレス化を推進する。／プロジェクターの利用等
- ・各部署からの問題点や課題を早く吸い上げる仕組みをつくる。



以上

3-1.旅館くらしき/倉敷珈琲館

【運用期間：2019年4月～2020年3月】

施設紹介

旅館くらしき

倉敷美観地区の中心部に位置し、陽前の庭、伝統建築の静かな佇まいに癒される料理旅館。先代が手塩にかけ、倉敷随一の伝統と格式を持って育て上げた名宿です。

古くは、江戸末期に遡る道具蔵などを改装したゲストルーム、宴会用お座敷、レストランを併設し、国内外のお客様をお迎えしています。

所在地：岡山県倉敷市本町4-1
 施設規模：木造2階建
 創業：昭和32年（1957年）
 開業：平成18年（2006年）7月



倉敷珈琲館

白壁の町、倉敷美観地区の一角にある焙煎珈琲（コーヒー）専門店です。

1971年の開店より、厳選して仕入れた豆をひとつひとつさらに選り分け、培った焙煎技術とネルドリップをかたくなに守り、ひたすら美味しいコーヒーを求め続けてまいりました。

所在地：岡山県倉敷市本町4-1
 施設規模：木造2階建 30席
 創業：昭和46年（1971年）4月
 開業：平成18年（2006年）7月



今年度の実績評価

環境目標項目	単位	実績値評価 (原単位：利用者人数1人あたり)				環境目標項目	実績
		①目標値	②実績値	③評価 (②-①)			
1.省エネルギー化推進によるCO ₂ 排出量削減※1	kg-CO ₂ /人	4.037	4.878	×	0.841	6.eco 検定合格（受検）による環境意識の向上	1名合格
2.分別・リサイクル推進による廃棄物排出量削減 (食品廃棄物を除く)	g/人	59.8	84.3	×	24.569		
3.食品リサイクル率の向上	%	79.0	86.85	○	7.85	7.スタッフ・お客様への啓発活動	<ul style="list-style-type: none"> テナントへ口頭による協力を依頼。(ごみ出しなど) トイレ、バックヤードなどに節水ステッカーを掲示。
4.節水による総排水量削減	ℓ/人	226.380	564.151	×	337.771		

※1：CO₂排出係数は、0.529kg-CO₂/kWhとします。(四国電力2016年実績)

●活動実績及びその評価●

(旅館くらしき) ゴミ排出量測定に関して課題であった測定方法の大幅な変更を行い、正確な数値を出せる環境を整えました。スタッフルームの電気・エアコン等のこまめなオンオフは行いましたが大きく削減には至らず、来期の課題としていきます。

(倉敷珈琲館) ①新商品でコスタリカ産「ジャガーハニー」の珈琲豆販売を開始。ジャガーハニーに関わる売り上げの一部は、絶滅危惧種に指定される野生のジャガーの保護活動に貢献しています。②珈琲の注文が通った際、3杯分淹れて残った珈琲は再度注文が通ったら使っているが、冷めたら味が落ちるので捨てていた。もったいないので、2杯分でも淹れるように工夫しました。味に影響が出るのでこれ以上少量は難しい。③紙媒体の書類のデータ化を推進しました。(納品書、日報など)

■省エネルギー化推進によるCO₂排出量削減活動について■

(旅館くらしき) 各々の自己啓発のみに任せておりましたので達成できませんでした。来期は掲示物(スタッフルームやパントリー)を作成し活動していきたいと思っております。

(倉敷珈琲館) ①前年同様、気候が良い時期は、扉を開けて風を通し、エアコンをOFFにして営業しております。②新しいエアコンに設定温度のシールを貼り、従業員に共有しました。またバックヤードのエアコンはタイマー設定を行うなど、人がいる時間のみ使用するように指導しました。③コロナの影響で売上減に伴い、エアコンのON、OFFの徹底。換気の実施など各所節電を強化しました。

■分別・リサイクル推進による廃棄物排出量の削減について■

(旅館くらしき) 今回測定方法の変更(各部署ごとへの分担)を行い今まで課題であった正確な数字を記録致しました。来期以降はこの数字をもとに削減を計画していきます。

(倉敷珈琲館) ①テナントのゴミ出しへの注意を継続。(軽量化、分別など)
 ②商品発送の際の納品書を購入していましたが、自社でエクセル作成したものに切替えました。手書きから入力になり作業効率も上がりました。
 ③経理と日報の電子化で話し合い、来年度4月～紙媒体でなくデータで入力、管理することになりました。

■食品リサイクル率の向上について■

(旅館くらしき) 昨年の79%に対しリサイクル率が上がった形となりました。調理場の丁寧な仕分けによって達成しました。今後も継続できるよう指導していきます。

■ 3-1.旅館くらしき/倉敷珈琲館

【運用期間：2019年4月～2020年3月】

■節水による総排水量削減について■

(倉敷珈琲館) ①漏水を早期発見。対処致しました。②蛇口の部品劣化で閉め忘れや水漏れが発生していた為、部品交換を行いました。

■スタッフ、お客様への啓発活動について■

(旅館くらしき) お客様への啓発は旅館ブランドとしては難しい。そのためスタッフへの啓発(掲示物の作成)に来期より強化致します。

(倉敷珈琲館) ①InstagramなどのSNSでエコアクションに参加などの告知を行いました。②売上の低下の関係でスタッフに節電、節約の呼びかけを強化しました。

●次年度の取組内容について●

今年度12月のエコ検定申し込みを忘れていた為、来年度は必ず受検を実施し、正社員全員合格を目指す。

コロナウイルスの影響による売上減が考えられる為、経費節減と環境負荷軽減の両立を目指します。

ブランドイメージの維持も大切ですが、その中で出来ることを探し旅館くらしきの電気、ガス、水道などの削減を厳しく指導して参ります。

倉敷珈琲館では、

①コーヒーカスを使用した脱臭剤の作成できないか検討。

②フェアトレードの珈琲豆を新商品として販売出来たらと考えております。

③日報のデータ化により、日報出力で1日1枚紙を使用していた為、年間でA4用紙365枚削減できる予定です。

以上

4-1.管理本部・ストアマネジメント課・フーズケア課

【運用期間：2019年4月～2020年3月】

■各課紹介

ストアマネジメント課

津田の松原サービスエリア内で「あなぶき家」のうどん商品、「あなぶきホテルズ」「倉敷珈琲館」オリジナル製品の販売を行っております。

フーズケア課

サービス付き高齢者用住宅、住宅型有料老人ホームへの食事供給業務を受託し、安全安心な食生活の提供をさせていただいております。

■今年度の実績評価

環境目標項目	単位	実績値評価 (原単位：利用者人数 1人あたり)				環境目標項目	実績
		①目標値	②実績値	③評価 (②-①)			
1.省エネルギー化推進によるCO ₂ 排出量削減※1	kg-CO ₂ /人	1,610	0,794	○	▲0.816	6.eco 検定合格(受検)による環境意識の向上	1名合格
2.分別・リサイクル推進による廃棄物排出量削減 (食品廃棄物を除く)	g/人	93.1	63.9	○	▲29.194		
3.食品リサイクル率の向上	%					7.スタッフ・お客様への啓発活動	<ul style="list-style-type: none"> ・事務所・厨房内にエコ啓発掲示物を掲示 ・朝礼での周知
4.節水による総排水量削減	ℓ/人						

※1：CO₂排出係数は、0.529kg-CO₂/kWhとします。(四国電力2016年実績)

●活動実績及びその評価●

☆各環境目標は達成という結果となりました。

(特にCO₂削減については昨年のLED工事もふまへ使用量が減少しています)

☆エコユニットの活動の一環として、防災センターへの体験見学を通じ、緊急事態に備える意識を向上させました。

☆用紙使用量の削減や電気使用量の削減など毎年実施している項目については、従業員の意識も向上し各自取り組みを継続しました。

☆防災センターでは、煙避難体験・消火体験・地震体験・暴風体験・救急救護体験などを通じて従業員の緊急事態に備える意識を向上させました。

■省エネルギー化推進によるCO₂排出量削減活動について■

☆活動内容自体は、全施設に共通して適切且つ推奨される空調温度の設定・こまめな換気の実施等…基本的なことが中心となります。

☆昨年のあなぶきセントラルビル内で設備改修工事の効果で、廊下やトイレ、給湯室の電気のオートセンサーや、新しい空調によって引き続き無駄な電気の削減につながっています。

☆社有車のドライブレコーダ導入も引き続き継続しており、エコドライブへの意識がより根付き、各従業員それぞれが、ふんわりアクセル・加速・減速の少ない運転を心がけています。

☆階段利用を促す掲示・啓発を行い、穴吹セントラルビル4階にある管理部で、エレベータの使用を抑制し階段利用を推進しています。

■分別・リサイクル推進による廃棄物排出量の削減について■

☆引き続きペーパーレス会議の推進を行い、用紙使用量削減に努めました。また社内書式の電子化を進めており、決裁書・承認申請書に関しては電子化を導入しました。

■スタッフ、お客様への啓発活動について■

☆緑の地球防衛基金が行っている「使用済み切手の回収」に参加し、事務所全員への周知・啓発を継続しました。他部署・他グループからの協力もあり1.15kgの切手が集まり、緑の地球防衛基金に送付しました。(1kgあたり1,000円分の価値)

☆中央通り清掃及び高松クリーンデーへの参加の掲示及びメール等で周知・啓発を行いました。クリーンデーには家族も含め参加した従業員もおり、線路沿いや縁石にあるお菓子のごみやたばこの吸い殻、空き缶などのごみ拾いをおこないました。

☆ビル全体での消防訓練が初めて実施され、セントラルビル事務所内の従業員全員で参加しました。

●次年度の取組内容について●

☆積極的な地域のエコイベントへ参加を行うなどエコユニットとしての活動を拡大し、環境意識向上に努めます。

☆用紙排出量の更なる削減をするため、ペーパーレス会議の推進・書類の電子化を行います。

☆中央通りの清掃やクリーンデーの参加を継続し、参加人数を増やすために積極的な声掛けを行います。

☆マイ箸やマイボトル、エコバックの持参を呼びかけ廃棄物の削減に努めます。



承認申請・報告書の申請マニュアル



以上



2019年度の環境経営レポートは以上です。

弊社は、今後とも全社を挙げて環境に配慮した活動に取り組み継続的に改善してまいります。

そして、この活動を自社のみにとどめるのではなく、広くお客様、地域社会の皆様のご理解・ご協力を得て『持続可能な社会の実現』に向けて、貢献させて頂けるように努めます。

地球環境の悪化がこれ以上進まないように、次の世代へより良い地球環境を引き継げるよう、日々の活動を継続してまいります。



環境経営レポートは当社の公式ホームページでも公開いたします。下記 URL よりご覧ください。
<http://www.anabuki-enter.jp/>

発行日：2020年6月30日